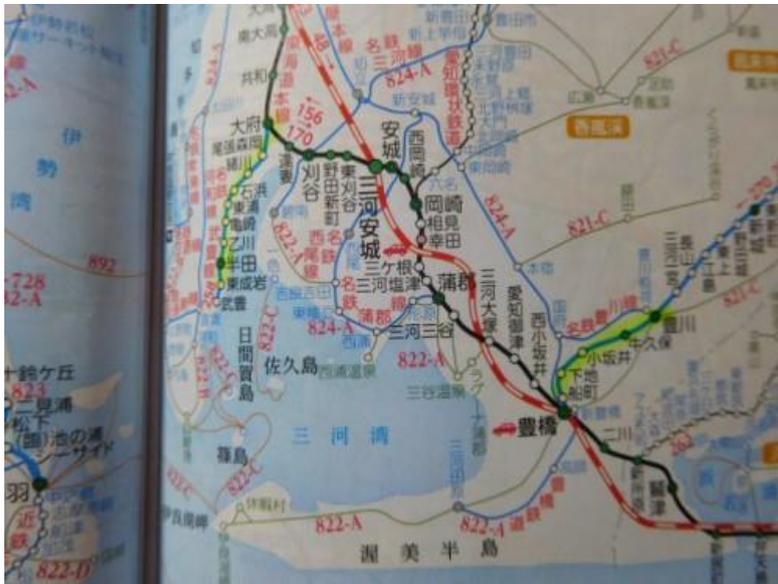


## 第2章 飯田線（豊川～豊橋）

2019年3月23日（土）から一泊二日の旅は、次のプランで臨む。二日とも天候には恵まれたが、風が強く肌寒く感じる二日間であった。それ故、桜の開花を見届けることができず残念。

しかし、下見を無事完了の他、鉄道つたい歩きの全駅舎にも立ち寄ることに成功。これで天や神のご加護を得て、通算営業キロは1万85km（活動日数498日）となる。感謝あるのみ。



## 第1節 旅プラン

○3月23日（土）

家内に中央林間まで送ってもらう。

中央林間7時35分、長津田7時52分の電車で新横浜まで向かう。

ひかり505号 新横浜（8時52分） → 豊橋（9時57分）

飯田線 豊橋（10時12分） → 豊川（10時24分）

新城行きの快速のため、川に挟まれた下地駅と船町駅には停車せず。

飯田線つたい歩き（豊川稲荷参拝後）：豊川～牛久保～小坂井～下地～船町～豊橋  
（営業キロ8.7km）

東海道本線 快速 豊橋（15時20分） → 大府（15時57分）

武豊線 大府（16時17分） → 半田（16時45分）

第74回わいわい会下見



名鉄イン知多半田駅前泊 0569-23-3434

○3月24日（日）

半田（7時57分） → 武豊（8時5分）

武豊線つたい歩き：武豊～東成岩～半田～乙川～亀崎～東浦～石浜～緒川～尾張森岡～大府（営業キロ19.3km）

東海道本線 快速 大府（15時18分） → 豊橋（15時57分）

こだま664号 豊橋（16時8分） → 新横浜（17時58分）

## 第2節 飯田線（豊川～豊橋）

豊川(10:24)～牛久保(11:48)～小坂井(12:38)～下地(13:35)～

船町(14:45)～豊橋(15:06)

2019年3月23日(土)、飯田線の本長篠駅から豊橋駅を一日も早く繋げたかったが、そのチャンスがなく16ヶ月余振りの本日となった。これで断線区間を一箇所解消でき嬉しい限りだ。



豊橋駅





豊川駅、豊川稲荷への表参道  
豊川稲荷

当初は、豊川～牛久保～小坂井～下地～船町～豊橋の営業キロ 8.7 kmに加え、武豊線の武豊～東成岩～半田（4.7 km）を考えていたが、次のような理由から、急遽予定を変更し、飯田線のみとする。

- ① 豊川稲荷参拝にゆっくり時間を取りたい。
- ② 明るい内にホテル・宴会場・観光スポットを見ておきたい。
- ③ 豊川駅界限で名鉄に惑わされ、路に迷うという洗礼を受ける。
- ④ 豊川や豊川放水路に立ち塞がれ大きく迂回を余儀なくされる。
- ⑤ ⑤JRのダイヤに遅れが出る。結果は大成功。



路に迷った前兆の姫街道踏切

牛久保駅

第74回わいわい会の宿泊先”名鉄イン知多半田駅”や宴会・反省会の会場である”天麩羅天畔”の予約を確認できた。また、ホテル、宴会場、そして観光地の関係図を掌握できた。さらに、ホテルまでの送迎や当日の荷物の預かりなども確認できたからだ。そして、2次会の会場の候補も頭に描くことができた。下見の重要性を改めて感じる一

日でもあった。初めての試みであったが、有言実行してよかった。数人の関係者に下見情報を SMS したところ、タイムリーに感謝のメッセージをもらい感激また感激。

今日の歩きを通じて、2017 年 11 月 4 日（土）に歩いた際は、本長篠駅から豊橋までの 32.1 km を一日で歩けると思ったが、この区間は相当難しいと痛感する。特に、豊川から豊橋間においては、名鉄の並走や豊川放水路・豊川が前方を遮り難しいと（相当距離の迂回を余儀なくなれる）。加えて、明るいうちでないと絶対歩けるコースではないと。下地駅と船町駅は秘境駅に相当する位踏破に骨が折れた。しかし、今では廃駅となっている函館本線の姫川駅・桂川駅・東山駅に比べれば比較にならない程簡単ではあるが（笑い）・・・。

豊川から豊橋までの行程は次の通り。

豊川駅（10 時 24 分）に着くや否や駅員さんに、二つお伺いする。

1 つは、先程停車しなかった船町駅と下地駅は駅舎が存在するか否か。これに対し、先程の列車は快速のため停車しなかったとのこと。二つ目は、豊川稲荷の道筋をお伺いする。駅前の通りを 5 分位歩いた先にあるとのことであった。狐が印象的な豊川駅は、2017 年 11 月 4 日（土）振りではあるが、強く印象に残っていた。駅前で再度お伺いする。駅前から続く表参道を歩けば行けるとのことであった。お土産が続く、表参道（豊川稲荷表参道）を歩き、豊川稲荷を参拝。境内には桜前線もあり、露天商の姿が目立った。10 時 46 分。本堂の前で記念写真を撮って頂く。10 時 54 分、豊川駅に戻る。



豊川市立牛久保小学校

小坂井駅



豊川放水路

秘境風”下地駅”

10時55分、豊川駅は名鉄も合流していた。11時、姫街道踏切を横切り、とんでもない方向に向かおうとしていた。この踏切は名鉄の他にJRの踏切でもあった。それを誤り、名鉄の踏切と勘違いしたことが起因する。20分位歩いた先で、道路ですれ違った方に「牛久保駅はどちらですか」と聞く。不思議な顔をして、「豊川駅が近いですよ。牛久保駅は今歩いたほぼ反対方向ですよ」と教えて頂く。少しパニック状態となった。少し冷静になり、別の通行人の方に地図を見せながらお伺いする。「踏切を渡って線路沿いを歩けば、牛久保駅に行けますよ」との回答を得て、リカバリーに入る。先程の踏切には11時28分到着なので、約30分時間を無駄にする。11時41分、牛久保八幡宮を遠くから参拝する。11時48分、今川義元公の墓（大聖寺）の案内板を見つける。11時48分、やっと豊川駅から2.1km先の牛久保駅に到着する。11時56分、薪を背負った二宮尊徳がある豊川市立牛久保小学校前（明治6年10月創立）を通過。今では、この銅像を撤去する傾向にある。歩きスマホにも見えるからであろう。誠に残念であるが……。12時36分、門並踏切を横切り、鉄道の左側となる。12時38分、小坂井駅に到着。



豊川（迂回に2km）

豊橋駅への案内板、秘境風”船町駅”

12時55分、前方を高架した道路があり、少し右往左往するが、鉄道に近づくという第六感が働く。結果は大正解。ここから川と名鉄に惑わされ、スピードダウンとなるが。複雑な道筋について、線路を見ながら歩く。結論から言えば、名鉄とJRがほぼ豊川～豊橋にかけて並走しているのを気付かなかったのが大失敗。JR・名鉄の車両が交互に往来していたのを。13時3分高橋を経由し、豊川放水路沿いの土手を歩く。この放水路の橋（199歩）まではかなりの距離があった、13時30分、15歩ある江川橋を渡る。13時30分、JR下を潜る。その先に偶然にも下地駅（13時35分）があった。この駅は行き過ぎたと思ったが無事踏破できホッとする。民家が余りないようところにあり、利用度は少ないのでは……。秘境風の下地駅を種々のアングルで撮影し、船町駅を目指す。豊川に沿って橋を目指す。14時2分、2423歩ある豊川（豊橋）を渡る。迂回に20分位要する。豊川にはかもの群れが五月雨式であった。20分位戻り、豊田踏切（14時32分）を横切り、船町駅には14時45分到着。この駅も秘境風の駅であった。14時40分、曇り空から晴れとなり、肌寒さが緩和される。14時51分、引き返し地点に到達。14時55分、豊橋市立松葉小学校前を通過し、豊橋駅には15時6分到着。15時20分の大垣行に乗り、大府駅へ。



豊橋市立松葉小学校、豊橋駅

### 第3節 第94回わいわい会（高松一高同窓の歩き会）下見

2019年7月20日（土）～21日（日）

半田駅界隈で開催



JR 半田駅

2019年3月23日（土）～24日（土）にかけ、JR半田駅、天麩羅”天畔”（宴会・反省会会場）、観光地、そして名鉄イン知多半田駅前（宿泊先）のアクセスを確認する。JR半田駅から天畔にかけ、いくつかの食事処があった。天畔に面して半田運河が広がっていた。運よく天畔を中心に蔵や半田運河などの観光地があった。半田駅前にはSL見学・鉄道資料館（第1・第2・第3日曜日は10時よりオープンとあった）がある。一方、JR半田駅から名鉄知多半田駅にかけ、商店街が広がっていた。名鉄インは名鉄知多半田駅に面してあった。



名所旧跡

23日の夕食は、下調べを終え、ホテルから再度天畔に出向き、美味しい天麩羅を頂きながら、地酒や越乃寒梅などの飲み比べを堪能する。観光スポットなどを送付頂いた杉浦さんにも出会える。一方、ホテルでも資料を送付頂いた赤松さんにも出会い、思い出に残る一日となった。



半田運河      鉄道資料館

インターネットからの情報からではあったが、結果的には第74回わいわい会は財布や足にもやさしいコースを選択できたような錯覚をし、安堵また安堵。後は各位から、「いい歩きコース、いいホテル、いい食事処、そしていい観光地などであった」と反省会の席で言われたいものだ。



天畔



ホテル界限



ホテル6階から（名鉄知多半田駅）、ホテルの一室と通路

